



### 生産履歴の書き方 (例)

生産履歴記録 トマト 氏名 東京 太郎  
(品種名 桃次郎)

播種	月 日	元肥	堆肥	( 月 日)	kg		
仮植	月 日	肥		( 月 日)	kg		
定植	月 日			( 月 日)	kg		
収穫始	月 日	10a		( 月 日)	kg		
収穫終	月 日	当り		( 月 日)	kg		
農薬名 (成分名)	農薬使用基準			農薬散布実績			
	希釈倍率(倍) 使用量	使用時期 使用回数	月/日	月/日	月/日	月/日	月/日
〇〇乳剤 (◇☆)	2000~4000 150~300ℓ	収穫前日 4回					
△△乳剤 (▽☆)	2000~3000	収穫前日 4回					
〇△乳剤 (☆◇)		収穫前日 3回					
□□水和剤 (☆☆)	2000 150~300ℓ	収穫前日 2回					
□△水溶剤 (◇◇・▽☆)	1000~2000 150~300ℓ	収穫前日 3回(▽☆4回)					
△〇乳剤 (◇▽)	2000 150~300ℓ	収穫前日 2回					
□〇フロアブル (☆▽)	2000 150~300ℓ	収穫前日 2回					
●■水和剤 (▽★)	1000~1500	収穫前日 3回					
▲■水和剤 (◆◆)	2000~3000	収穫前日 5回					
▲▲フロアブル (◆★)	2000 100~400ℓ	収穫前日 4回					
●▲水和剤 (◆▽・★★)	1000	収穫前日 5回					
■▲水和剤 (▽◆・★▽)	600	収穫前日 6回					
××乳剤 (**)	200~300mlを 100ℓに希釈	定植前・直後 1回					

注:同じ有効成分が  
含まれる剤を使うときは、  
使用回数に注意する。

#### 記入方法

栽培期間中に、散布する農薬名を記入する。生産組織単位であらかじめ生産者に用紙を配布する場合は、散布予定の農薬名を、また、JA等の取扱農薬(当該作物に登録のあるもの)を記入しておくことよ。	上段には使用基準に定められた希釈倍率、下段には10a当りの散布量(水和剤、乳剤等はℓ、粉剤・粒剤等はg)を記入する。	上段には使用基準に定められた使用時期、下段には使用回数を記入する。	実際に農薬を散布した日毎に記入する(例:3月10日なら3/10)。使用回数を厳守するために、その回数分だけ月日を記入できるようにし、あとは欄を塗りつぶす等して間違いが少ない。
---	--	-----------------------------------	---

資料4 生産履歴の様式(例)

JA名		JA新宿		栽培確認者		JA新宿 花野 都子											
面積		1.5 a		地番		新宿区西新宿2-8-1		出荷先及び量									
追肥 10a 当り	( 月 日)		kg														
	( 月 日)		kg														
	( 月 日)		kg														
	( 月 日)		kg														
類	ア フ ラ ム シ	類 ア ザ ミ ウ マ	ナ オ シ ラ ミ コ	シ ラ ミ コ ナ イ	シ ル バ ナ	エ ハ モ グ リ バ	カ オ オ タ バ コ	ダ ト ニ マ ト サ ヒ		疫 病	灰 色 か び 病	葉 か び 病	輪 紋 病		雑 草	畑 地 一 年 生	
		2000 ミカン			マメ	○											
		1000~2000 ミカン				○	2000 ○	3000 ハズメグサ									
○			○	○	2000 マメ												
○			○	○				ヒメハゲ									
○		1000 ○	○	○													
					マメ	○	○										
		ミカン				○		たがひ									
								1000 斑点			○		1000 ○				
							100(灌注) 萎凋病	2000 菌核			○	○					
											○	○					
						軟腐	斑点細菌	かいよう	○			○	○				
								斑点	○			○	○				
																○	

最上段に主要な病害虫等の名称を記入し、その病害虫等に登録のある農薬に○をつける。同じ農薬であっても、対象病害虫等によって希釈倍率が異なることがあるので、左欄の希釈倍率と異なる場合は○の上に倍率を記入する。また、最上段に書かなかった病害虫等に登録がある場合等は、登録内容がわかるよう工夫して書く。